

ATGREEN

Carbon Neutral Commitment

自社の取組と事業展開を通して、脱炭素社会の実現に貢献します

ATGREENは、気候変動対策をお客様のみならず、自社においても重要な経営課題の一つと位置付け、事業活動に伴う温室効果ガス(GHG)排出調の把握と削減に取り組みます。

当社は**2026年度より、事業活動に伴う排出量※**について**実質カーボンニュートラル**を目指します。



排出量の把握・可視化

オフィス利用、出張、通勤等に伴う排出量を継続的に把握します。



実行可能な排出削減

省エネや移動の工夫など、実行可能な削減に取り組みます。



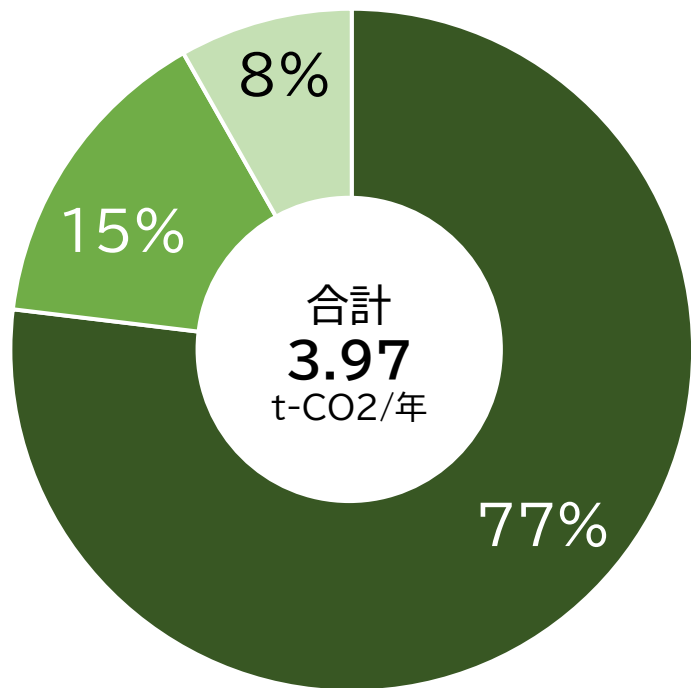
オフセットの活用

削減が困難な排出量については、カーボンクレジット等を活用し、オフセットします。

Current GHG Emissions

現在の温室効果ガス排出量(2025年度 推計)

当社の排出量の大部分は、業務を行うためのオフィス利用由来の排出によるものです。



オフィス利用※1

オフィスでの電力消費
由来の排出

3.05t-CO2/年
77%



出張※2

海外案件に伴う航空移動や国内
案件に伴う鉄道・バス・レンタ
カー等による移動による排出

0.59t-CO2/年
15%



通勤※2

従業員の通勤に伴う排出

0.33t-CO2/年
8%

※1:グループ会社と共同利用するオフィス全体の電力消費由来の排出分から当社社員の人数で案分して算出

※2:環境省 グリーン・バリューチェーンプラットフォーム 排出原単位データベース(Ver.3.6)の原単位を用いて算出



Actions Toward Carbon Neutrality

脱炭素に向けた取組



①省エネルギー

- ・照明、空調利用の最適化
- ・PC、OA機器の省電力化
- ・ペーパーレス化の推進
- ・資源の効率的な利用



②実行可能な排出削減

- ・公共交通機関の積極的な利用
- ・国内移動は可能な限り鉄道を優先
- ・オンライン会議の有効利用



③オフセットの活用

削減が困難な排出量についてカーボンクレジット等を活用



※当社事務所は2026年度よりテナント内のオフィスに移転したため、調達電力を再エネ由来電力へ切り替える契約変更は不可能である

Contribution Through Our Business

事業を通じた脱炭素への貢献

ATGREENは、自社の排出削減に取り組むとともに、事業領域である「エネルギーマネジメント」、「カーボンマネジメント」、「グローバルマネジメント」を通じて、お客様とそのステークホルダーの皆様の脱炭素推進に貢献します。

① エネルギーマネジメント



エネルギー地産地消モデル構築や 事業化調査・事業化支援

地域未利用資源や廃棄物を用いたエネルギー利活用(エネルギー地産地消モデル)に関する事業可能性調査や共同プロジェクトサポート

② カーボンマネジメント



温室効果ガス排出用の把握や 削減に関する提案・体制構築支援

製品ライフサイクルのGHG排出量を把握・公開するカーボンフットプリントやその削減サポート業務。これらを通じ、CDP(カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト等、グローバルな企業対応課題)に対する取り組みをサポート

③ グローバルマネジメント



環境・エネルギー分野での 調査・事業化支援など 国際技術交流支援

東南アジアを中心とした海外諸国に向けたエネルギー分野や環境分野の技術移転や技術交流等をサポート